

## 定期報告

2011年6月6日(月)

外気温17°C、室内気温23°C、湿度54%、

放射能0.10 $\mu$ Sv/h:持参線量計 palmRAD Dosimeter Model 1621M (BNC) (AM7:20)

朝食 パン、スパム、スクランブルエッグ、サラダ

昼食 スパゲッティ、サラダ

夕食 麻婆丼、コンソメスープ、サラダ

氏名:中嶋 優太(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

06:00 起床

07:00 朝食

08:00 町田チームミーティング

08:45 診療前ミーティング

09:00 午前診療開始

工藤総務担当と外出。開設予定の大槌病院仮設診療所の現状把握  
つくし薬局と情報交換

11:40 午前診療終了

12:30 昼食

13:00 午後診療開始

学校側の協力を仰ぎ、プールの消毒

16:00 午後診療終了

16:10 釜石カンファレンスへ出発

16:40 シーガリアマリンにて入浴

17:10 シーガリアマリン出発

17:30 釜石シープラザにてカンファレンス

17:50 カンファレンス終了

18:30 大槌高校帰着

急患2名対応

19:30 夕食、歓談

22:00 就寝

## 診療前ミーティング

6月10日にいよいよ救護所が撤退となる。近隣医療機関受診を勧める。  
感染症対策として、医療チーム、保健師チーム協力して環境衛生活動に努める。  
食事について三浦管理栄養士から、配膳スペースの下に敷いている段ボールが不衛生。  
定期的な交換を提案する。

## プールの暫定的な消毒

室内プールを確認したところ、水はひどく濁り、ボウフラの抜け殻が無数に浮いていた。活発に動いているボウフラも確認できた。早急な対応が必要と判断し、校長先生に相談することにした。

室内プールは、避難者の洗濯場、物干しスペースとして使用されている。

例年であれば、清掃、消毒を済ませ水を張っている時期のようだ。しかし今回の震災で、プールの給排水機能が失われてしまった。6月13日に改修工事が入るが、排水に3日、水張りに1週間かかるとのことだった。

高橋校長先生と用務員もこの状況を以前から懸念しており、次亜塩素酸ナトリウム製剤による消毒提案を了承頂いた。あくまでも暫定的な消毒であり、プールの使用を前提としたものではないため、おおよその希釈倍数とした。ある程度希釈したものをプールサイドから流し、その後周りを4人でグルグル回り、対流を作り、拡散するようにした。

釜石カンファレンスからの帰り、確認したところ、異臭が緩和され、水も透明度を増していた。

## 釜石カンファレンス

災害対策本部長の寺田医師より、巡回診療は日赤チームと釜石病院にお願いしているが、日赤チーム撤退後、巡回診療は予定されていない。地元の開業医には、どうしてもという場合のみ、訪問診療をお願いすることになるということだった。

受診側としては、移動手段がない、病院が遠い、混んでいる等の理由で巡回診療に来てもらうのが当たり前と考える方が多いようで、診療側との考え方には隔たりがあるようだ。

中田薬剤師に撤収後の医薬品の処理について再確認した。6月10日以降、釜石医師会で撤収作業に入るので、医薬品はある程度段ボールに詰めるなど、とにかく運びやすいように片づけてもらえると助かるとのことだった。

## 急患の対応

午後の診療時間内に間に合わなかった患者の受診が、釜石カンファレンス帰着後に2件あった。古釘を踏んだ夫が心配と相談してきた方と、ぎっくり腰で寝返りもうてない夫を診てほしいという方だ。

古釘の患者さんは静注とトキシイドで対応。

ぎっくり腰の患者さんは往診することになり白戸医師に同行させていただき、投薬・服薬指導を行った。

## 明日の予定

### ・総務担当

総務 3 人で買い出し、料理の準備、弁当(明日の昼食)の手配、自衛隊風呂の視察  
物理室の片づけ、撤収作業

### ・板澤薬剤師

避難所、医療体制、道路状況の視察  
保健室先生と打ち合わせ

### ・中嶋

調剤投薬業務、調剤室の撤収に向けた仕分け作業、校長先生と打ち合わせ、  
救急箱の状況確認

## 氏名:板澤 雅人(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

06:00 起床。  
07:00 朝食。  
08:00 町田チームミーティング。  
08:45 救護所にて全体ミーティング。  
09:00 診療開始。  
11:40 午前診療終了。  
12:30 昼食。  
13:00 午後の診療開始。  
14:00 ATV(青森テレビ)取材(白戸医師インタビュー)  
16:00 午後診療終了。  
16:10 大槌高校出発。  
16:40 シーガリアマリンにて入浴。  
17:10 シーガリアマリン出発。  
17:30 釜石シープラザ到着。災害対策本部医療カンファレンス。  
17:50 カンファレンス終了。釜石シープラザ出発。  
18:30 大槌高校帰着。  
19:00 急患 2 名対応。  
19:30 救護所施錠。  
19:40 夕食。  
20:10 チーム女子は遠野民宿へ向けて出発。  
22:00 就寝。

本日は午前午後ともに十数名の受診者があった。

午前には NPO「世界の医療団」によるこころのケアの診察があり、医療団のメンバーと外人カメラマンが救護所に入ってきたり、午後は ATV の取材が入ったりと何かと慌ただしい一日だった。夕方遅くには、がれきの片付けで釘を踏み抜いた方や、ぎっくり腰で身動きが取れなくなった方の受診があった。

支援物資中に腰痛固定ベルトを見つけ、処方薬に追加して差し上げた。19:00 以降に看護師と私たちが総出で対処に追われたが、充実した経験が出来た。

釜石の災害対策本部医療カンファレンスは月、水、金のみに変更となったため私たちが参加できるのは本日が最後であった。寺田本部長と医薬品供給窓口である中田薬剤師にも御挨拶することが出来、寺田本部長からは今までの支援へのお礼のお言葉を頂いた。

### 工藤 源造(総務担当)

体調:良好

行動日誌

- 06:00 起床
- 07:00 朝食
- 08:00 町田ミーティング
- 08:45 診療所カンファレンス
- 09:00 診療開始
- 09:30 中嶋薬剤師と大槌町内視察(役場、大槌病院仮設診療所、つくし薬局)
- 11:30 帰着
- 12:00 昼食
- 13:00 午後診療開始
- 14:00 記念病院三浦管理栄養士・佐藤理学療法士と大槌町内救護所視察
- 15:30 帰着
- 16:00 業務終了

大槌病院仮設診療所の工事進行状況の中嶋薬剤師と視察に行った。工事は終盤にさしかかっていた。町民が今後の診療に不安を抱き、早期の完成を望んでいた。

**氏名:八木橋 郁夫(総務担当)**

体調:良好

行動日誌

06:00 起床  
07:30 朝食。  
08:00 町田ミーティング  
08:45 記念病院チームとの合同ミーティング  
09:00 掃除  
10:30 買い出しへ  
11:00 昼食準備  
12:00 昼食  
13:00 後片付け  
14:00 避難所状況確認  
16:00 入浴のため釜石へ  
17:00 夕食準備  
19:00 夕食  
22:00 就寝

避難所で前回の6次派遣で知り合った方々に「またお世話になるねえ」と笑顔で声をかけていただき、とても嬉しかった。また、城山体育館に行ってきた工藤総務から、私の事を覚えていた方から「頑張って」とのメッセージを頂いた事にも感動した。少しだけでも被災者の為になっているのだと思い、明日もまた頑張りたい。

**氏名:野崎 一也(総務)**

06:00 起床  
07:00 朝食  
08:00 町田ミーティング  
08:45 記念病院チームとの合同ミーティング  
09:00 掃除  
10:30 買い出し  
11:00 昼食準備  
12:00 昼食  
13:00 後片付け  
14:00 避難所状況確認  
16:00 入浴の為釜石へ  
17:00 大槌高校到着後夕食準備  
18:00 夕食

22:00 就寝

被災地に来て2日目、被災者の方々に地震当日の状況を聞くことができた。  
仮設住宅の抽選が始まったが、入居できる戸数はまだ少なく、いつ移住できるのか、移ったとしても自立した生活ができるのかと問題は尽きないとのことだった。  
話を聞いて、少しでも自分に出来ることをやっていきたいと思った。